

事業者等向け放課後等デイサービス評価表の集計結果(公表)

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

さわやか愛の家たちあらい館

対象職員数:

6

名

回収数:

6

名

回収率:

100.0%

		チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	改善点	改善に向けた具体的な取り組み
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6				活動によって空間を分けて使用し、1人1人の活動スペースが確保できるようにしております。また、必要に応じてレイアウトの変更をおこない、過ごしやすい環境になるよう努めております。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6				必要な基本人員に加えて5年以上の経験がある専門的支援員も在籍しております。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置等バリアやフリー化の配慮が適切にされているか	5	1			自己の能力で克服可能なバリアはあえて残しながら、危険な箇所に関しては早急に修繕、対応を行ってまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	6				ミーティングや支援会議等で情報を共有しながら取り組んでいます。引き続きより良い支援の為に取り組んでまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6				定期的アンケートはがきを配布しております。また、ご意見ご要望等を真摯に受け止め、業務改善を図ってまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6				HPにて評価結果を公表いたします。また、LINEにて保護者の方にお知らせしていく予定しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6				事業所としては外部評価は行っていませんが、本社による内部監査を定期的に行っています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6				毎月法人でのスキルアップ研修や事業所内研修を行っております。時間の確保が課題であるため、外部研修も含め考えております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				アセスメントシートを用いながら、ニーズの把握に努めております。また、職員間で意見を出し合いながら計画を作成しております。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6				アセスメントシートを使用しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6				活動や余暇の時間について、お子様の成長に繋がるよう活動を計画しております。また、職員で役割を分担し、作成・共有しながら取り組んでまいります。

適切な支援の提供	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6				同じ活動内容でも、段階を追ってステップアップし、お子様の成長を促すことができるよう日々取り組んでおります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6				平日・休日共に活動を決めて取り組んでおります。休日に関しては余暇の時間も含め、お子様の成長に繋がるよう計画を立てております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6				お子様一人ひとりにあった活動の提供に努めております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	1			日々朝礼にてミーティングを行い、その日の活動の内容、目的を明確にし、共有しながら取り組んでおります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気づいた点等を共有しているか	6				日々終礼にて支援の振り返りだけでなく、課題の抽出等を行いながら支援について話し合いを行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6				内容については職員全員で読み合わせを行いながら情報の共有も含めて取り組んでまいります。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6				日々の振り返りの中でお子様の状況を把握し、最低でも6か月に1度は個別支援計画の見直しを行っております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	6				地域交流を積極的に行っていきたいと考えております。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	6				担当者会議での内容は、全職員に伝達するようにしております。全職員で情報共有を行い、共通理解の基に日々の支援を行ってまいります。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	1		今後も会議等(情報交換)を増やしていきたい	送迎時にお子様の様子を積極的に聞くようにしております。また、担当者会議等の開催の依頼等も行っております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	3	2	1	対象者なし	今後、医療的ケアが必要なご利用者様をご利用になった場合には、病院の主治医、関係機関の方々との連携を図る体制を整えてまいります。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	1	1		関係機関と連携しながら情報の共有に努めてまいります。

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3		現在、最年長は高校2年生となり移行の時期の為情報の提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5		1	管理者、児発管のみでなく、指導員の参加を促し、職員のスキルアップを目指してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	地域の方と交流する機会を設けた 今後も地域での活動を企画しながら、地域交流を図っていきたくと考えております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6			管理者が参加し職員に情報共有している。 引き続き、部会へ積極的に参加させていただきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6			保護者の方と密に連絡を取り合い、些細なことでも情報交換を行い、支援に生かしていきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	2		ご家庭での悩みなどから、支援方法を保護者の方と一緒に考える機会を設けてまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6			ご契約の際に、利用契約書・重要事項説明書について詳しくご説明をさせていただいておりますが、難しい言葉もあるため、わかりやすく説明をおこなってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6			常に保護者の方からの相談には迅速丁寧に対応するよう心がけております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	1		2月に開催しております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6			問題解決に向けて、ご意見を真摯に受けとめ改善に努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6			HPのブログで、子どもたちの活動の様子や、支援内容等引き続き更新してまいります。LINEでも、動画等で分かりやすくお知らせしていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	6			引き続き、個人情報の取り扱いには十分注意を行ってまいります。
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6			情報伝達については、分かりやすい様口頭だけでなく有効なツール等を用いながら伝えるよう努めております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	2	1	イベントの際には、地域の方もお招きして交流を深めていきたくと考えております。

非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	1		マニュアルは策定しており、職員の周知は行っておりますが、保護者の方へ契約時にお伝えするように致します。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6			現在子どもたちと一緒にしているが、年4回以外にも、定期的に職員間にて避難経路の確認や通報訓練等を行ってまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6			虐待防止のパンフレットの掲示も含め、職員全員で虐待防止に努めてまいります。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5		1	万が一、やむを得ない場合で身体拘束が必要な事象が起こった場合、「3要件に当てはまる緊急やむを得ない場合」に該当するかを必ず確認し、身体拘束基準マニュアルに則り対応を行なってまいります。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の診断書に基づく対応がされているか		3	3	対象者なし 医師の指示に基づき個別で対応させていただきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6			ヒヤリハットが発生した場合は、職員間で情報を共有しながら再発防止に取り組んでおります。